

算数オンライン塾 9月12日の問題 解説

(1) 次郎君の速さを【4】とすると、太郎君の速さは【7】。

したがってかかる時間の差は7:4で、その差が6分ですから、次郎君は $6 \div (7-4) \times 7 = 14$ 分、太郎君は $14-6=8$ 分でB地点に到着します。

(答え) 8分

(2) 太郎君の速さは $1680 \div 8 = 210$ m、次郎君の速さは $210 \div 7 \times 4 = 120$ m

8分後、 $1680 - 120 \times 8 = 720$ m二人の間は離れています。太郎君は速さが2倍になるので、 $210 \times 2 + 120 = 420 + 120 = 540$ mで近づくので、

$720 \div 540 = 1\frac{1}{3}$ 分=1分20秒 したがって出発してからは9分20秒後

(答え) 9分20秒後

(3) 次郎君は $14+7=21$ 分で一往復し、太郎君は $8+4=12$ 分で一往復します。

太郎君が2往復したとき、24分で、次郎君が一往復を終わって3分たっていますから、次郎君は $120 \times 3 = 360$ m先にいます。 $360 \div (210 - 120) = 4$ 分ですから、

$24+4=28$ 分後

(答え) 28分後

(4) 太郎君は12分 $\times m + 8$ 分、次郎君は21分 $\times n + 14$ 分です。

太郎君は8、20、32、44、56、68、80

次郎君は14、35、56、77、ですから56分後です。

(答え) 56分後